



## 三粒に種

田んぼのいきものたんけん(鹿沼市板荷)

タイトルに載せたのは、5月31日「田んぼでの生きもの調べ」の折に田の持ち主である農家の方から教えていただいた諺です。それは、一粒は空を飛ぶ鳥の為に、一粒は地に棲む虫の為に、そして最後は人間の為に種を蒔くということで、農業における生態系の共生を説いたものです。初めて聞いた言葉でしたが、人間だけが欲張ってはいけないということを教えていただきました。

田の持ち主である潮田さんはずいぶん前から無農薬・有機栽培による米づくりを実践されている方です。毎年田植えは6月中旬、その前に5回ほど代掻きをするそうです。その作業しているいろいろな生きもの達が次々見つかるというお話に引き寄せられました。8年ほど前からのお付き合いですが、今回はご厚意により田植え前の田んぼに入らせていただくことになりました。

NPO「なんとなくのにわ」との共同開催「川むしたんけん隊」を毎年実施していますが、今回は川ではなく田んぼ。「なんとなくのにわ」の会員や新聞の募集を見ての参加者・当会会員など大人子供総勢15名でたんぼに入り、生きものを調べました。

「川むし」とは少し調査方法が違います。田んぼの中にある「魚」「カエル」「爬虫類」「貝」「昆虫」「水草」が対象で、それらの種類や数によってその田んぼの「環境健全度」を知るというものです。田んぼの中から11種以上が見つかったらその田んぼは「きわめて健全」、4~10種なら「健全」、3種以下の場合は「健全とは言えず」と評価します。



5月31日(土)、雨模様の曇り空でした。気温:16℃・水温:17℃。私達の為に解放してくださった田んぼに小網を持って入ったところ、思いもかけずコオイムシ(子負虫)がたくさん見付き、子供達だけでなく大人も興奮。栃木県では準絶滅危惧種に指定されている虫だからです。前述した種分けにより、東京ダルマガエル・オタマジャクシ(種類不明)、モノアラガイ・マルタニシ、タガメ・ゲンゴロウ・コオイムシ・アカネ類トンボ・ヘビトンボ、水草はアカウキクサと合計10種が見つかり、健全な田んぼということが証明されました。下見の折にはヤンマ科ヤゴやアメンボが見つかっていますので、潮田さんの田んぼはきわめて健全と言えると思います。

雨・風が強くなってきたので、作業機械の置かれている建物に移動し、見つけた生きもの種分けを皆で行いました。想像以上の数と種類。お米を食べるカメムシにはそれを退治してくれる天敵が必ずいるとのこと。生きもの世界は奥深い。ピカピカに磨かれたトラクターや田植え機を前にしてのお話には、生きものと共にお米作りをされている潮田さんの強いこだわりと生きものへの愛情が深く伝わってきました。今まで遠くからしか見ていなかった田んぼがとても身近に感じられ、無農薬だからこそいろいろな生きものがそこで生きていることを子供達に実感してもらえた「たんけん」と「お話」でした。

人間の活動によって地球の温暖化が進んでいる今日です。お米づくりもいろいろ影響が出てくると思いますが、潮田さんの田んぼで見つかった生きもの達とは来年また必ず会いたい。そんな希望を持った一日でした。潮田様には下見の時から実施当日までさまざまにお世話になりました。ここに厚く御礼申し上げます。(塚崎庸子)

### 目次:

三粒に種	1
仰ぐ縁に(沢又)	2
ゆったりウオーク	3
葛谷理子さんを悼む	4
次回の川むしたんけん	4
活動報告	4

### 定例会のお知らせ

#### 毎月・第4金曜日

午後1時~2時

参加希望の方は会場・日時をお問い合わせください。

### ◆ ご協力お願い

毎月11日はイオンの「イエローシートキャンペーン」日です。半年に一度、レシート合計金額の1%が登録団体にカードで寄贈されます。当会も登録しています。毎月11日のお買い物時には、「今市の水を守る市民の会」のボックスにレシートを入れてくださるようご協力お願いします。(印刷用紙、プリンタインクなど)当会の活動に必要な品物を購入させていただきます。

# 仰ぐ緑に

## — ゆったりウォークから —

僅か3時間での色の変化を目の当たりにした日でした。ようやく開いた樹々の葉がこの短い時間に明らかに緑を濃くしていたのです。常に緑のある今市の暮らしでは、多くの人が春には広葉樹が1日で色を深めていくことを見知っています。しかし、3時間という時間枠の中での変わりように気付かされたのはこの日初めてで、根室の青少年スポーツセンター駐車場周辺の樹々からでした。解散の時、頭上の樹々は朝とは明らかに違う色で私達を包んでいました。この緑に気付いた参加者の声が今回のウォークをどんなに印象深いものにしてくれたことか、有難く思いました。自分一人では気付かなかったこと。参加者との交流は嬉しいものでウォークの醍醐味とすら思います。今回もいろいろな発見を共有することができました。

4月29日(火)は天候に恵まれました。田んぼの横も通り抜け、めぐりの緑と一つになったゆるゆるコース。栃木県青少年スポーツセンター管理室の許可を得て、駐車場を集合・解散地とし12人で根室・沢又地区を歩いてきました。



## ■ コース

距離は日光杉並木街道の大沢宿から塩野室に向かう道（県道295号線）の一部、約6キロメートルです。スポーツセンターの野外施設—ホッケー場・陸上競技場・テニスコート・サッカー場・クロスカントリーコース—をじっくり見学してから県道に入りました。

道沿いの杉林の中に見つけた「男體山」と刻まれた石はかつての男體講の名残でしょう。三階の高さにも思える大谷石の見事な石蔵、思いもかけぬところに湧く水、早苗の揺れる静かな田んぼ、日本タンポポの群落が巡りを囲む沢又高齋神社など。どこか懐かしい、でもまだまだ不思議なものを潜ませている土地と思いました。

古老の話によると、沢又は昔から沢の多い所だったそうです。水田が広がっているこの地には沢又獅子舞というものがあり、大谷川扇状地の上に成り立ってきた今市の農ある暮らしを今も伝えていて感じられます。ここでは地域のやさしさも垣間見ることができます。沢又公民館の横に安置されているお地蔵様。冬のお姿を見に来てください。あたたかな毛布に包まれていますよ。そして多くのお宅が同じ苗字の斎藤さんというのも初めて知りました。

## ■ 参加者の感想

- 朝の集合時より緑が濃くなっていた。
- 男体山と田んぼの景色が嬉しかった。
- ホッケー場を初めて見た。
- 広い施設でびっくりした。
- ホッケーチームの試合が見られたのはラッキー。
- 子どもが中学生の頃、フィールドホッケー試合の応援に参加したことを思い出しました。
- 枥の木の实を拾いました。植えて育てます。
- 神社の境内に咲いていたのは貴重な日本タンポポ。
- 車で通ったら絶対わからないもの沢山見つけた。

## ■ 道端で見つけた植物

- ◎ セリバヒエンソウ
- ◎ シロバナヤマブキ
- ◎ シロヤシオ
- ◎ ウワミズザクラ
- ◎ オカオグルマ
- ◎ 日本タンポポ（昔から日本に育つ固有種で珍しい種）

## ■ 新たな今市発見も

回を追うごとにご常連も増え、参加者同士で道中語らいのできるのは得難い体験と思っています。旧今市市域を歩くコースは私のような転入者にとってはまだまだ興味尽きないものです。観光地日光とは異なる気質であり、農・林業を礎とした暮らしが長く営まれてきた土地ゆえ様々な言い伝えや習慣が残っているのも、大谷川扇状地ゆえかもしれません。都市化が進む最近では逆にそこに新鮮ささえ覚えます。これからも不思議の素を見つけるウォークにしたいと思います。次はどんなものが見つかるのでしょうか。先ずはご参加ください。（塚崎）



## 活動報告

4月 4日(金) 定例会  
4月25日(金) 定例会  
4月29日(火) ゆったりウォーク  
5月13日(火) 田んぼ下見  
5月31日(土) 田んぼの生きものたんけん(鹿沼市板荷)  
6月27日(金) 定例会  
7月25日(金) 定例会  
8月21日(木) 定例会

だいや川通信  
第59号



郵便振替口座 00140-4-535550

〒321-1102 日光市板橋1732-1 森方

今市の水を守る市民の会

0288-27-2183 (8時~17時:森)

0288-26-3324 (17時~21時:塚崎)

<http://www.somesing.net/daiyagawa/>

## 『川むしたんけん隊』生みの親 葛谷理子さんを悼む

当会誕生の頃より「川むしたんけん隊」でお世話になってきた葛谷理子(くずやまさこ)さんが3月25日、ご病気のため逝去なされました。83歳でした。

葛谷さんは環境保護について造詣が深く、栃木県の環境カウンセラー・生物多様性アドバイザー・自然体験活動リーダーを務められ、「栃木の水を守る連絡協議会」代表や「思川開発事業を考える流域の会」副代表として主に水に関わる活動を続けてこられました。

当会で「川むしたんけん隊」を実施するきっかけになったのが平成2年(1990年)8月に小山市で開催された「水郷水都全国会議」です。葛谷さんのグループが発表された「生きものによる川の水質調べ」に私が興味を持ち、早速翌月、栗野の粕尾川での調査に同行させていただきました。その折に詳しい調査方法を教えていただき、それ以後大谷川・行川・大芦川・田川・思川・渡良瀬川などへ葛谷さんのグループ調査にご一緒しました。当会での活動に葛谷さんが講師として来てくださったのを機会に「川むしたんけん隊」が誕生しました。葛谷さんのおかげです。葛谷さんには到底及びませんが、先を進む葛谷さんの背中を目標に今日まで歩んできました。

葛谷さんとの思い出は、今はもうダムの下に沈んでしまいましたが、湯西川に向かう県道249号線脇の小さな沢でトワダカワゲラを見つけたことです。この虫は森から生まれる一年中変化のない、清らかな低温の水の中にだけ生きています。県内ではごく限られた場所でしか見つけることができない虫なので、これが見つかった時は二人とも興奮してしまいました。

葛谷さんとは県内の川を、今市周辺の川をまだまだご一緒したかったです。これからも「川むしたんけん隊」は続けていきたいと思っていますので、どうかこの活動をお見守りください。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。  
(塚崎庸子)

## 川むしたんけん隊

今市の水を守る市民の会・NPOなんとなくのになわ

2025年9月27日(土)

集合時刻：午前9時30分 西沢川(長畑)

川に入り、川むし採集

お昼近くに解散予定・雨天中止

参加費：100円

小学生は大人同伴で

川に入れる服装、安全な靴、着替え

参加申し込み・お問い合わせ

090-3227-7079

(NPO法人 なんとなくのになわ)

電話は 月~金曜日 12時30分~16時 お願いします。

メールでの申し込み：info@nantonakuno.net



今市の水を守る市民の会 2024年度会計報告

収入

会費収入	21,000
ゆったりウォーク参加費	4,000
イエローレシート寄付金	24,400
合計	49,400

支出

通信発送費	23,949
ゆったりウォーク保険	3,100
郵便局会費振込にかかる手数料	1,936
コピー用紙、はがき他	24,400
ネット管理費	9,320
合計	62,705

2023年度繰越金 91,433

2024年度収入 49,400

2024年度支出 62,705

次年度繰越金 78,128

## 編集後記

2011年3月に福島原発から放出された放射能は栃木県内にも拡散し、那須塩原や日光などを汚染しました。放射能汚染は消えたわけではなく、放射性セシウムは時間とともに減少しながら地面にとどまっています。■汚染の大きな要素である放射性セシウムにはCs134およびCs137の2種類があります。Cs134は約2年でその半数が崩壊により無害な原子に変化し14年間でほぼ消滅したと考えてよいと思います。いっぽう、半減までに30年を要するCs137は今でも75%が地表に残り有害なガンマ線を放射しています。■半年ほど前、今市地区で土壌の放射性セシウム濃度測定を行う機会がありました。いままでもあった家を取り壊した敷地です。地表5cmの深さで土壌を採取し、天日乾燥後に測定しました。A地点は2023年まで建っていた家の床下、B地点は庭だった場所。測定の結果、放射性セシウム濃度はA地点24、B地点1,080でした(単位:ベクレル/kg)。床下だったA地点は原発の放射能は少なく、検出されたCs137は1950~60年代の核実験由来、B地点の数値の大半は福島原発事故の影響と考えられます。■このように、いまでも日光周辺の表土は乾燥土壌1kgあたり、数100~1000ベクレルのCs137を含んでいます。Csは土壌の成分に吸着されやすく、雨水の流れで土壌とともに移動し、高濃度で検出される場所も見られます。除染土の保管や移動には今後とも十分な注意が必要ではないかと考えます。(T)